

……家族ぐるみで加入を……

### 市民交通傷害保険

六月から  
実施か

#### 議会承認後に、受け付け開始

いま、日本の自動車保有台数は世界第二位で、一方交通事故による死傷者もまた第二位を占めています。一日千四百件余り、三十七人の死亡者を出しています。

こうした交通事故の状況のもとに、いつもあなたは危険にさらされています。このような交通事故をなくするための安全対策はもとより大切なものです。しかし、交通事故はいまや補償を真剣に考えなければならぬときにきています。

た市民に被保険者に、損害保険会社を被保険者として実施しようとするものです。

わすか一人年額三百六十円、必ずか一人年額三百六十円、

できます。一人一口、個人を対象としたものですから、世帯主一人の加入で家族全員の補償はできません、五人家族であれば五人全員が加入する必要があります。家族のうちいづどあなたが交通事故にあわないとも限りません。みんな家族ぐるみでの加入をされますよう心掛けてほしいものです。

この保険制度は、三月の市議

——二面から——

ですが、実質的には市青年団へ委託し管理させる方針で、名実ともに『青年の家』として青年団活動の拠点になる見込みです。

#### 市民交通傷害保障条例

車の増加とともに年ごとに交通事故の激増をみていますが、このような交通事故の被害者救済対策として、市民の生活安定と福利増進をはかるために設けようとするもので、実施については四月から五月までを申し込み受け付け期間とし、六月一日より実施しようとするものです。

#### 国鉄建設公団が

#### 土地の

#### 立ち入り調査

四月一日から二年間

国鉄阿佐線建設のため、日本鉄道建設公団の土地立ち入り調査が近づくと思われます。

立ち入りの目的は、測量と調査のためのものです。

立ち入ろうとする土地の区域は後免町、野中、大坪、立田、上野田、下野田、物部

立ち入ろうとする期間、四月一日から四十五年三月三十一日までです。

この土地立ち入り調査については土地収用法の規定の手続きもそれぞれ終り、三月十九日付けで市も公告をしています。



交通事故を補償するためにいろんな損害保険が生れています。国が強制加入をさせています自動車損害賠償責任保険(自賠保)、対人対物賠償の自動車保険(任意加入)、個人や、団体でも加入できる交通事故傷害保険(一千万円まで契約できる)、また安い保険料で補償されます市民交通傷害保険(損保方式、直営方式、共済方式)などがこれにあたります。

（一カ月三十円）、一日一円の保険料で五十万円から三千万円までの補償がされます。補償額は少ない額ですが、自賠保の支払い決定までのつなぎ資金として活用していただくことができます。

加入は年令、性別に関係なく市民であれば自由に加入することが

国民健康保険特別会計Ⅱ総額二億二千四百五十六万二千円、などです(予算の繰り越しについては次号へ)。

なおこんどの四十二年度の最終補正予算案によれば四十二年度の累計総額はつきようになつてい

家族ぐるみで加入を